

国立市富士見台地域まちづくり

重点まちづくり構想に向けた取組み



都市整備部 富士見台地域まちづくり担当

取組みの背景

国立市制のきっかけとなった国立富士見台団地、公共施設が集積するまち
国立市の暮らしの中核となる住宅市街地



高齢化、公共施設や住宅等の経年変化の進展

喫緊の課題

公共施設の再編

居住の安定を図りながら大規模団地と一体的に取り組むまちづくりの推進
だれもが住み続けられる地域包括ケアシステムの実現



課題解決に向けた取組へ

超高齢社会・人口減少社会における
国立市のまちづくりの先行モデル

(仮称) 富士見台地域重点まちづくり構想

(以下、重点構想)

まちづくりビジョン -2018.2策定-



まちづくりの基本的な考え方

重点構想

-2020年度中 策定予定-

重点課題

- 富士見台地域における地域包括ケアの推進

重点まちづくり

- 公共施設の再編と一体的に取り組むまちづくりの推進
- 大規模団地と一体的に取り組むまちづくりの推進

重点課題を踏まえて、
富士見台地域のまちの整備方針を定める

検討テーマ

- ① だれもが住み続けられるまちづくり
- ② まちのにぎわいづくり
- ③ 様々な世代にとって心地よい居場所づくり
- ④ 歩きたくなるまちのつくり方・使い方の工夫

重点まちづくりの実現に向けた整備方針

検討体制 (重点構想の策定に向けて)

行政施策の視点から

国立市

×

生活実感の視点から

市民

×

専門的な知見から

専門家

(共同研究)

富士見台地域まちづくり
庁内検討会



実務的検討

重点構想検討部会
(関係課担当者による横断的検討)

富士見台地域まちづくり協議会
(重点構想の取りまとめ)



主催

富士見台ミーティング
(開かれた検討の場/ワークショップ)

コミュニティ
アセスメント研究会
(多分野専門家による検討)



重点構想検討部会における市民ニーズと行政施策の対応検討ワークショップ



富士見台地域まちづくり協議会における意見交換



研究会における富士見台ミーティングのご意見の振り返り

市民主体のまちづくり



協議会と富士見台ミーティング

富士見台地域まちづくり協議会

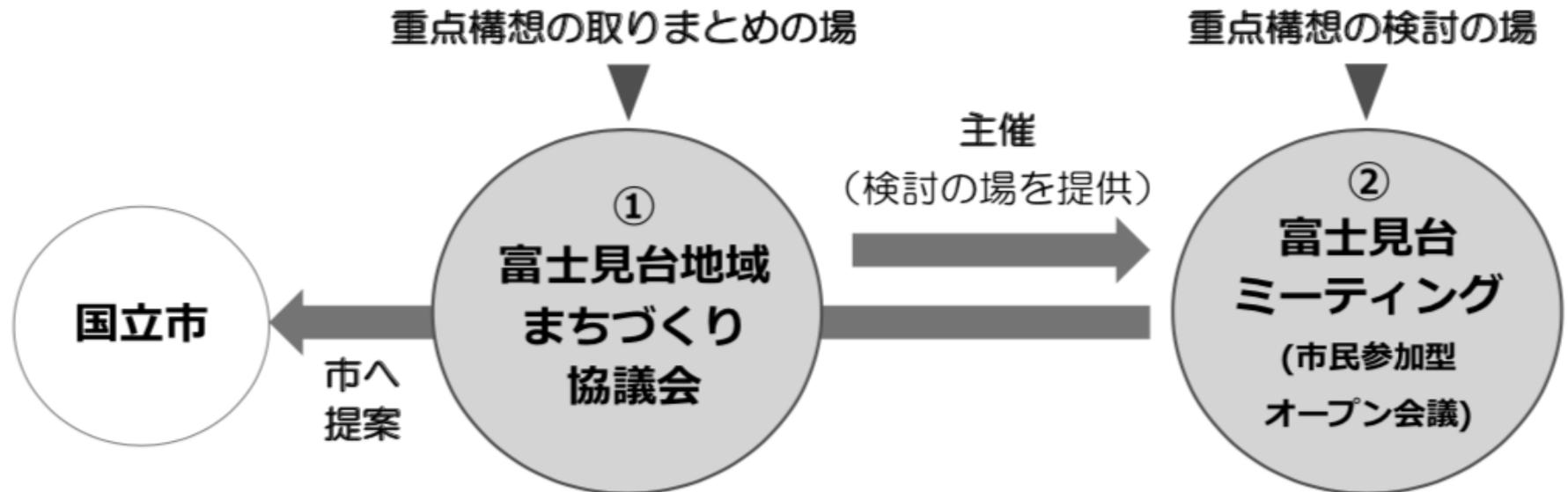
- 市民による検討の場を提供
- 検討成果を重点構想（案）として取りまとめ、市へ提案
- 構想策定後は、構想実現をめざす組織として活動を視野に

主催



富士見台ミーティング

- 構想に必要な検討テーマを検討・議論する場
- 重点構想を検討する市民に開かれた場（市内在住、在勤、在学、関係者だれでも）



これまでの富士見台ミーティングの流れ

検討テーマ

- ①だれもが住み続けられるまちづくり
- ②まちのにぎわいづくり
- ③様々な世代にとって心地よい居場所づくり
- ④歩きたくなるまちのつくり方・使い方
の工夫

(※) これまでの検討から設定

第1～2回ミーティング

- ①～④の
テーマごとに整理

テーマ実現における
大切な考え方

考え方に基づく
取組みの方向性

方向性に基づく
取組みアイデア

第3回ミーティング

市民にとって大切な場所を把握し、その価値を評価していただく

まちの整備を検討する際に、空間づくり作法として大切にする



場所の価値の評価

整備方針（たたき台）のまとめ

第4回ミーティング／2020.1.11

場所の価値の評価

4つのテーマを踏まえて

場所の価値を評価しよう

NO

場所 1つ

- 健康・医療・福祉にとって大切な場所【赤】 居心地の良い場所【緑】
 よく行くお店・場所【青】 よく歩くルートや場所【マップに書く】

評価キーワード 3つまで

- 出会いがある 何かを学べる いやされる 五感が刺激される
 体を動かせる 安心を感じる ワクワクする 便利である
 個性や文化を感じる 伝統を感じる その他 (_____)

具体的な理由・内容

このベンチは、夏は木陰で涼しいので、通院帰りによく休憩する。顔見知りもよく立ち寄るので、ここでよくお話をする。キンモクセイの季節には、良い香りがするので、心地よい。

場所 (テーマ関連)

評価キーワード

具体的な理由・内容

「場所の価値」台帳
を作成しました



iPadで場所の状況を参加者同士で共有



マップに場所をプロット

整備方針（たたき台）

富士見台地域のまちづくりの課題と富士見台ミーティングの検討テーマ

富士見台地域の主な課題 (いただいたご意見/WS、まちあるき等)

検討テーマ

地域包括ケア

- ・困ったことを相談できる場の不足している
- ・入院できる設備のある病院がない
- ・国立富士見台団地の高齢者が住み続けられるようにしたい
- ・地域住民同士のつながりがみえない
- ・ごみ出しで困っている高齢者が多い
- ・高齢者が集える居場所が少ない

コミュニティ

- ・中高生が気兼ねなく集ったり居られる場所がない
- ・たたずめる場所、ポーとする場所がない
- ・市民が気軽に立ち寄れる居場所が少ない
- ・公共施設が交流の場として使われていない
- ・コミュニティが希薄になっている
- ・自治会への加入率が低下している

子育て

- ・公立幼稚園がない
- ・幼児教室「風の子」を継続してほしい
- ・団地の公園でもっと子どもが遊べるようにしたい
- ・親同士が気軽にしゃべれる場所がない

商店街

- ・商店街に元気がない、空き店舗が多い
- ・商店街が若い世代・働き世代のニーズに合っていない
- ・子連れで入れる店がない
- ・商店街同士の交流が少ない
- ・商店街の後継者や担い手が不足している

安心安全 (防犯・防災)

- ・国立富士見台団地に空き室が多くなり、防犯上不安
- ・公園使用マナーがよくない
- ・公園に防犯カメラがなく防犯上不安がある
- ・タバコの吸い殻などゴミが多いところがある
- ・災害時の助け合える準備が必要である

公共公益施設

- ・公共施設がバラバラ・デザインが良くない
- ・公共施設がハード面や機能面で古く対策が必要
- ・公共施設が交流の場として使われていない
- ・図書館をもっと魅力的にしてほしい
- ・運動施設がない

公園・みどり 環境配慮

- ・国立富士見台団地の緑の魅力が活かせていない
- ・さくら通りの桜の植え替えや維持が大変
- ・公園に健康遊具がない、ボール遊びなど制約が多い
- ・公園をみんなの居場所としてもっと活用する
- ・住宅の規模が小さいため、緑化が難しい
- ・残っている農地が将来どうなるか心配

回遊性・歩行環境 交通

- ・自販機、ベンチ、木陰など休める場所・機能が少ない
- ・さくら通り以外、安心して散歩できる場所がない
- ・道路はしょうがいのある方への配慮を考えてほしい
- ・住宅地の道路が狭く車・自転車・歩行者のすれ違いが怖い
- ・さくら通りの交通量増加が心配
- ・さくら通りの歩行者と自転車が入り混じり怖い
- ・くにっこバス、路線バスがないエリアが不便

街並みと 景観

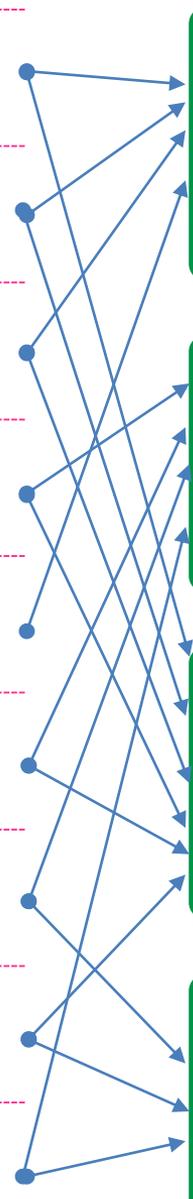
- ・地域にあった高さの建物を誘導ができていない
- ・歩行者の結節点となる交差点の景観に魅力が足りない
- ・散歩をしていても建物ばかりで楽しくない
- ・富士見台地域の東側エリアにぎわいが足りない

①だれもが住み続けられるまちづくり

②まちのにぎわいづくり

③様々な世代にとって心地よい居場所づくり

④歩きたくなるまちのつくり方・使い方の工夫



富士見台ミーティングの検討成果との関係

第1～2回 富士見台ミーティング

整備方針／たたき台

これまでの検討成果から整理

検討テーマ

- ①だれもが住み続けられるまちづくり
- ②まちのにぎわいづくり
- ③様々な世代にとって心地よい居場所づくり
- ④歩きたくなるまちのつくり方・使い方の工夫

①～④の4つのテーマごとに意見交換

テーマ実現における

大切な考え方

考え方に基づく

取組みの方向性

方向性に基づく

取組みアイデア

[ポイント]

各テーマに共通するご意見が多く出されました

例

- ①顔見知りができる身近な居場所を増やす
- ②既にある居場所を積極広報する
- ③施設に限らずいろんな場所を居場所活用する
- ④まちなかで憩える居場所を作る

第3回 富士見台ミーティング



市民にとって大切な場所の把握と価値を評価

場所の価値の評価

継承したい場所が多く出されました

整備方針

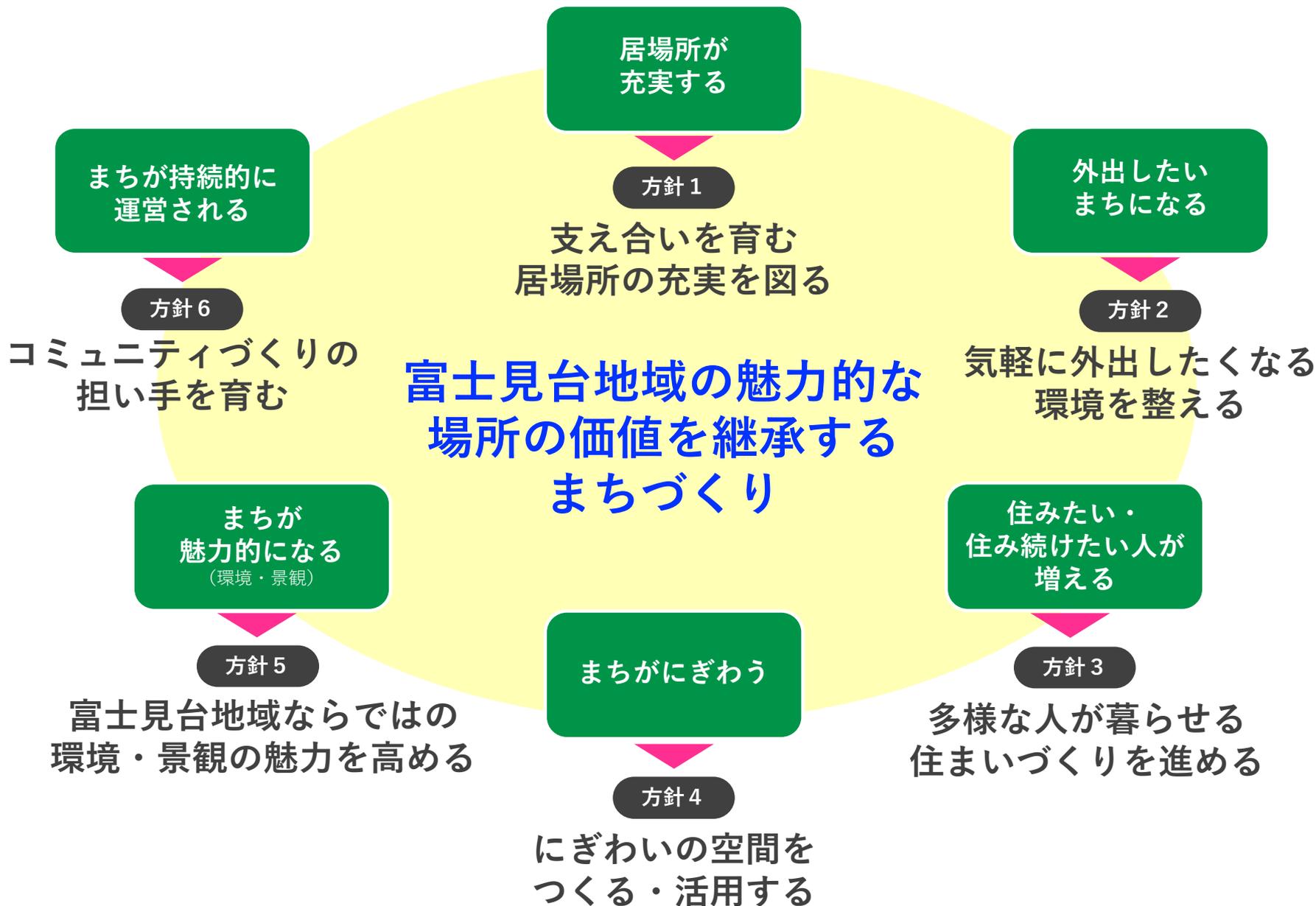
- ①支え合いを育む居場所の充実を図る
- ②気軽に外出したくなる環境を整える
- ③多様な人が暮らせる住まいづくりを進める
- ④にぎわいの空間をつくる・活用する
- ⑤富士見台地域ならではの環境・景観の魅力を高める
- ⑥コミュニティづくりの担い手を育む

整備における
空間づくりの作法として活用

場所の価値マップ

- ①～⑥の方針に基づき、まちの整備を検討する際に、富士見台地域の空間づくりの作法として活用する

整備方針の考え方①



整備方針の考え方②

整備方針（たたき台）は、富士見台地域の魅力的な場所の**価値を継承**し、それらをさらに**つなげて・ひろげる**まちづくりを進めるためのものです。

富士見台地域の魅力的な場所



その実現をめざす整備方針

来年度（2020年4月～）の予定

スケジュール案

4～6月

○全体予定確認

●整備方針の検討

7～9月

●中間まとめ

10～12
月

●最終まとめ

1～3月

●重点構想案の提案

○次年度予定確認